

私たちの

暮らしと文化

第十回 奈良教育大学博物館実習成果報告展

○ マスクと私たち～マスクと共に生きる～



○ 漢字の変遷～甲骨文字から楷書まで～



○ PETの世界



○ 疫病と共に追う奈良・日本の文化史



奈良教育大学博物館実習

2020年

私たちの暮らしと文化

はじめに

この展覧会は学芸員をめざす学生が自ら企画し展示したものです。今年で 10 回目を迎えます。本展は奈良教育大学の教育資料館で開催する予定でしたが、コロナ感染拡大の状況下で公開を断念せざるを得ませんでした。そこでデジタル展覧会とすることにしました。協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

今回は 4 つのコーナーで構成されています。コロナ感染やプラスチック削減問題と今の問題から暮らしを見る視点と、私たちの文化を形作るともいえる漢字のルーツを追う視点と興味深い内容となっております。

I 疫病と共に追う奈良・日本の文化史

今年は何んといっても新型コロナウイルスの出現です。これによって社会も、生活も一変しました。とまどうばかりですが、こうした疫病に見舞われるのはもちろんこれが最初ではありません。むしろ人は疫病と闘い、乗り越えてきました。今一度この日本の疫病の歴史と文化を知ろうとしています。

II マスクと私たち～マスクと共に生きる～

この新型コロナが流行している現在を未来でふり返るとすれば、皆がマスクをしている風景がまず出てくるのではないのでしょうか。この非日常的なことが日常化した現状をマスクに焦点をあてて考えます。

III PET の世界

レジ袋有料化も今年の動きを表しています。地球規模の環境変化は無視できなくなってきています。こうした動きの中でプラスチック削減の取り組みがなされています。ここではペットボトルを取り上げて環境問題に興味を持ってもらおうとしています。

IV 漢字の変遷～甲骨文字から楷書まで～

普段使っている漢字ですが、その起源まで考えることはあまりないのではないのでしょうか。社会生活になくってはならないもので、私たち日本人の思考方法にも影響を与える漢字という存在を見直そう。こういう発想も、コロナ流行で家にいることが多くなったことが影響しているのでしょうか。漢字がどこから生まれ、どのように変化して、現在の形となったのか。拓本など実際の資料で詳しく解説します。

2020 年 12 月 19 日

博物館実習担当

金原正明

巽 善信

疫病と共に追う奈良・日本の文化史

概要

日本は古来より様々な疫病に見舞われ、それを乗り越えてきた。その中で人々は疫病に関わって様々な文化を育んできた。この章では現在、コロナウイルスが流行している中で、今一度日本と疫病の歴史や文化について掘り下げた展示をしている。

展示構成

1. 東大寺の大仏・古代の祈祷、まじない(人形・人面土器)
2. 祇園祭
3. 幕末・明治とコレラ
4. 現代 コロナウイルスとアマビエ

出品リスト

1. 墨書人面土器 奈良時代 (稗田/若槻遺跡出土 奈良県橿原考古学研究所附属博物館所蔵)
2. 祇園祭礼絵巻 江戸時代中期 (福岡市博物館所蔵)
3. ちまき (個人蔵)
4. 祇園祭絵馬 (個人蔵)
5. 茅の輪守 (個人蔵)
6. 茶毘室混乱の図 江戸時代 (国立公文書館所蔵)
7. 虎列刺退治 明治時代 (東京都公文書館所蔵)
8. アマビエダルマ (個人蔵)
9. 春日大社疫病退散絵馬 (個人蔵)

参考文献・協力

- 橿原考古学研究所
- 岡田芳朗・松井吉昭 (2013) 『年中行事読本』 創元社
- 八木透編 (2002) 『京都の夏まつりと民俗信仰』 昭和堂
- 福岡市博物館
- 八坂神社
- 虎列刺退治 東京都公文書館デジタルアーカイブ
- 安政箇労痢流行記概略 国立公文書館デジタルアーカイブ
- 天下大変・流行病・安政箇労痢流行記：国立公文書館(2020年11月12日閲覧)
- 怖いコロリ、虎のごとく…コレラの流行(2010年7月26日)(2020年11月12日閲覧)

奈良時代



1. 墨書人面土器 ぼくしょじんめん ど き

奈良時代（稗田/若槻遺跡出土 奈良県橿原考古学研究所附属博物館所蔵）

奈良時代に流行した天然痘などの疫病は、悪霊や鬼がもたらすものと人々に考えられていた。これらの土器の表面に疫病をもたらす悪霊などの顔を描き、破損させる行為に代えて追い払おうとするまじないを行ったと見られている。これらは8世紀の平城京の側溝や運河跡から多く出土しており、水に流し都市から追い出そうとする扱いもされていたと考えられる。その後全国の遺跡からも出土するようになり、広く一般に普及したまじない方法だったとされる。（辰上）

平安時代

京都・祇園祭



ぎおんさいれいえまき 2. 祇園祭礼絵巻

江戸時代中期（福岡市博物館所蔵）

京都・祇園祭りは八坂神社が主催する疫病退散祈願祭礼である。その昔平安京が造られた地域は京都盆地の低湿地帯であり、夏季はとても蒸し暑いという地理的・気候的条件のもと、洪水と共に伝染病が発生し蔓延した。多発するこれら疫病の原因を、都人は不遇の死を遂げた人の怨霊の祟りであるとして怨霊の慰撫につとめた。そして自然災害や疫病がこれ以上発生、蔓延しないように祈願する祭礼が始まり、今日の祇園祭に至っている。中世の頃は、祭りが終われば作り物は祟っている怨霊を追い払うために破却されたが、現在山鉾巡行、神輿渡御によりまちが清められるとしている。（白畑）



←祇園祭礼絵巻(部分)



現在の祇園祭→
(写真 八坂神社)



展示物 左から

3. ちまき
4. 祇園祭絵馬
5. 茅の輪守

幕末・明治時代の疫病流行



6. 茶毘室混乱の図

江戸時代（国立公文書館所蔵）

安政5年(1858年)に発行された、仮名垣魯文編「安政箇勞利(ころり)流行記」の口絵である。焼き場の棺桶が所狭しと並べられている様子が描かれている。コレラ大流行で亡くなる人が続出し、江戸の火葬場は大混乱となった。亡くなった人は3万~4万人にも上り、有名な浮世絵師である安藤広重や戯作者の山東京山もコレラで亡くなっている。（山下）



7. 虎列刺退治

明治時代（東京都公文書館所蔵）

虎（頭）、狼（胴体）、狸（睾丸）の合体した怪物に衛生隊が消毒液を噴射している姿を描いた作品。当時は治療法も無かったコレラを妖怪変化の仕業であるとする考えも生まれた。どのような薬も効かず手に負えないコレラという脅威を怪物に見立てて表している。コレラは定期的に流行し、手洗いや換気などの現在でも通用する衛生観念の礎を築いた。（河西）

現代



8. アマビエダルマ

(個人蔵)

新型コロナウイルスの流行に伴い、日本では妖怪であるアマビエの疫病除けの言い伝えに注目が集まり、アマビエを表した様々な商品が生まれた。この作例ではダルマの置物の表面に、アマビエの口の突起、うろこ、ヒレをかたどった着色が施されている。

～アマビエとは？～

アマビエは江戸時代後期に製作された瓦版に記録が残る妖怪である。その瓦版には、肥後国の海中に光る物が表れ、役人が様子見に行くと、アマビエと名乗る人魚のような妖怪が現れ、豊作と疫病を予言し自らの姿を書き写して世に広めるよう言い残したとされる。(笠置)



かすがたいしゃえきびょうたいさん え ま

9. 春日大社疫病退散絵馬

(個人蔵)

ポケットモンスターのキャラクターであるピカチュウをデザインした、にしだあつこ氏がデザインした白鹿の「はくちゃん」、アマビエの「はるちゃん」が描かれた絵馬。疫病退散と人々の平安を祈願して、春日大社に奉納された。

作者のにしだあつこ氏からは、「春日大社ゆえんの白鹿と、姿を見せる事によって疫病が退散するとされるアマビエ。疫病が退散しますようにと想いを込めて描きました。見る人の心が少しでも癒され、願いが届きますように。」というコメントが寄せられている。(笠置)

マスクと私たち ～マスクと共に生きる～

はじめに ～この展示について～

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、いまやマスクは日常生活の必需品となっています。新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されたのは1月。そこから10か月余りたった今では、一日に2,000人ほどの感染者が報告されています。そのような危険が密接にある生活の中で、これまで以上に重要なものとなったのがマスクです。

第一波と呼ばれる感染拡大期では、使い捨てマスクの供給が大幅に不足し、価格が高騰しました。そのことにより、マスクを手作りする人が増え、YouTubeにマスクの作り方動画がアップされるなど、布マスクの需要が拡大しました。また、国の政策としては、布マスクが全世帯に配られ、そのときの総理大臣の名前にちなみ、「アベノマスク」と呼ばれました。

第三波が来ているといわれる現在では、使い捨てマスクの需要は安定し、適正価格で販売されるようになりました。しかし、マスクに求めるものは人それぞれです。マスクに性能のみを求める人、デザイン性やファッション性を求める人、使い心地の良さ、肌触りのよさを求める人。そのような人々の需要にこたえるように、マスクは多様化しています。

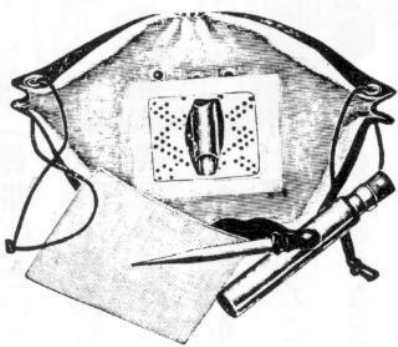
本展覧会では、私たちの生活とマスクのかかわりやその変化を知ってほしいという観点から、マスクの歴史とともに、多様化したマスクを紹介します。この企画が、コロナ禍における社会事情とあなたの生活、そしてマスクの役割について考えるきっかけとなれば幸いです。

マスクの歴史

日本でのマスクの始まりは明治初期まで遡ります。当時のマスクは「工場マスク」や「呼吸器」と呼ばれており、真ちゅうの金網を芯に布地をフィルターとして取り付けたものでした。名前の通り工場内で粉塵よけとして利用されていました。それが現在のように医療用として使われ始めたのは1918年のインフルエンザ(スペイン風邪)大流行がキッカケです。この頃から予防品として注目されるようになります。

その後、マスクは徐々に普及し、1923年、内山武商店から発売された「^{ことぶき}壽マスク」が、商標登録品第1号に認定されました。それからマスクの改良も徐々にすすみ、金網をセルロイドに変えたものやフィルター部分に別珍や皮革などを使用したものが現れます。

昭和に入り、インフルエンザが再び猛威をふるった1934年にマスクは大流行します。以後、インフルエンザが流行るたびにマスクの出荷量は爆発的に増加していきました。枠のない布地だけのものや1950年には日本初のガーゼマスクが布に代わるマスクとして誕生。マスクは次第にその形を変えていき、1973年に不織布製プリーツ型の原型が日本での生産・販売されるようになりました。1980年代からの花粉症の流行はそれまでのインフルエンザ予防の用途に加えて一般家庭でのマスクの普及を促進させることとなります。その後、立体マスクの登場など2000年以降はマスクの種類もますます豊富となり、現在マスクは私たちの生活には欠かせない医療用品となっています。



↑明治時代のマスク、当時は「工場マスク」「呼吸器」と呼ばれていた。



↑スペイン風邪の流行によりマスクを着用する人々

世界では・・・

マスクが医療用品としての役割を持ち始めたのは19世紀の末頃です。舞台は欧米各国。米 Bloomberg の記事によると、ニューヨークの内科医 A.J. Jessup が1878年に論文でコットンのマスク着用による伝染病の感染予防を主張しました。

その後、1897年にも、外科手術中にマスクの着用を訴える論文が発表され、さらに1905年には、シカゴの内科医 Alice Hamilton が、あらためて手術中のマスク着用を論文で訴えます。

発疹性感染症(しょうこう熱)の患者や無症状の医師や看護師が喋ったり、咳をしたりするとどれくらい菌が飛散するのかを論文で明らかにしていきマスクの有用性を証明していきました。それと同時に機能性も向上していったため、スペイン風邪が流行する頃には日本にも伝わり、世界に浸透していきました。

展示品解説



1. 大創産業 不織布マスク 30枚入 ふつうサイズ

大創産業より販売されている不織布マスク。

税抜 100 円。

マスク部分はポリプロピレン不織布製。耳紐はウーリーゴム製。ノーズはポリエチレン製。

約 17.5cm×9.5cm。



2. タマガワエーザイ FITTY シルキータッチ®

耳ゴムふわり ホワイト7枚入 ふつうサイズ

タマガワエーザイより販売されている不織布マスク。

メーカー希望小売価格税抜き 500 円。

マスク部分はポリプロピレン、ポリエチレン製。耳紐はナイロン、ポリエステル、ポリウレタン製。ノーズはポリエチレン製。約 16.5cm×9cm。

ふわふわとした材質のゴムを使用していることを特徴としている。口元にシルクを模した心地よい肌触りを施す。



3. 阿蘇製薬 デルガード® 不織布マスク 5枚入 ふつうサイズ

阿蘇製薬より販売されている不織布マスク。

メーカー希望小売価格不明。

マスク部分はポリプロピレン、ポリエチレン製。耳紐はポリエステル、ポリウレタン製。ノーズはポリエチレン製。

約 17.5cm×9.5cm。

口元に空間を持たせたΩプリーツ加工が施され、快適性重視のマスクとなっている。



4. unicharm 超快適® 7枚入 ふつうサイズ

unicharm より販売されている不織布マスク。

メーカー希望小売価格不明。

マスク部分はポリオレフィン製。耳紐はポリオレフィン、ポリウレタン製。ノーズはポリオレフィン製。

17.5cm×9.0cm。

「超快適」と謳う通り、柔らかな耳紐やシルク配合のマスク部分により、装着時の快適性重視のマスクとなっている。



5. 大創産業 活性炭マスク 7枚入 ふつうサイズ

大創産業より販売されている不織布マスク。

約 17.5cm×9.5cm。

大創産業の他の不織布マスクと異なり、活性炭フィルターが含まれていることが特徴で、消臭効果を発揮する。



6. CROSSEED ダチョウ抗体マスク® 3枚入 Sサイズ女性用

CROSSEED 株式会社より販売されている不織布マスク。

メーカー希望小売価格税抜き 319 円。

マスク部分はポリプロピレン、ポリエチレン、

レーヨン製。耳紐はポリエステル製。ノーズはポリエチレン製。

15.8cm×9.2cm。

ダチョウ抗体を浸透させたフィルターを用いることでウイルスを瞬時に捕集し遮断する。ダチョウ抗体とはダチョウが作り出す抗体であり、ウイルスやバクテリア等の病原体を不活性化する能力が非常に高いことが特徴である。大量生産の可能な抗体であり、熱に強いことから日用品への利用が可能である。

展示者の意向により袋のみの展示。



7. 天野商事 かぜと花粉強力ブロックマスク

天野商事より販売されている不織布マスク。

フィルタ製造を日本原子力研究所第一号支援認定企業である東レ・ファインケミカル株式会社と環境浄化研究所が行う。

花粉等の遮断率に非常に重きを置いているマスクである。



8. ARAX PITTA MASK® 3枚入 REGULAR GRAY

9. ARAX PITTA MASK® 3枚入 REGULAR WHITE

ARAX より販売されているポリウレタン製のマスクである。メーカー希望小売価格は税込 521 円。

ポリウレタンを多孔質化するポーラスフィルター技術を用い通気性を確保。立体網目構造にポリウレタンのセルを配することで花粉を遮断する。繰り返し洗って使用することも可能。



10. SPINNS 接触冷感マスク クールなやつら 3枚入 BEIGE

SPINNS から販売されているポリエステル製マスク。

ポリエステル 85%、ポリウレタン 15%の配合である。

18cm×14cm。

裏地に熱のこもりにくい接触冷感素材を使用しており、夏に快適に使用できることをコンセプトとしている。

吸水速乾が可能であり、汗をかいても快適である。



11. アズワン SH2950V N95防護用マスク フリーサイズ

アズワンより販売されている N95 マスクである。

N95 マスク (Particulate Respirator Type N95) とは、アメリカ合衆国労働安全衛生研究所 (NIOSH) の N95 規格をクリアし、認可された微粒子用マスクのこと。N は耐油性がないことを示し、95は試験粒子を95%以上捕集できることを指す。



12. フェイスシールド

メーカー不明だがフェイスシールドである。展示者は楽天市場にて通販で購入。

顔面全体を覆えるサイズのフェイスシールドとなっており、眼鏡のような形状で顔面に装着する。



13. 布マスク(通称 アベノマスク)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行を受け、マスク需要が急増した結果、マスクの共有が不足するという事態に陥った。その事態を解消するために当時の政権であった安倍内閣が行った対応策として、全世帯に2枚ずつ配布された布マスクである。世間ではこのマスクを「アベノミクス」のような安倍晋三元首相の名前もじりになぞらえて「アベノマスク」と呼ぶことがある。

配布方法や費用をめぐる様々な世論が交わされた。

材質はガーゼ。

13.5cm×9.5cm。



14. 手作り布マスク 折り畳み式 黄色

15. 手作り布マスク 平面式 桃色

16. 手作り布マスク 平面式 花柄

布と耳紐を用意し、手作りしたマスク。作成は展示者2名とそのご家族によるもの。折り畳み式のタイプや平面式のタイプがあり、手作りならではのバリエーションである。



17. 阪神タイガースマスクカバー FKD936594 ハンシンマーク
BLK

阪神タイガース承認のロゴマースの入ったマスク。Xebio 等スポーツショップにて販売されていた 2020 年秋冬モデルである。

ポリエステル 85%、ポリウレタン15%の素材である。

接触冷感機能があり。スプレー等で水を吹きかけ濡らすと効果が上昇する。

阪神タイガースのロゴのように、デザイン性に特化した一品。



18. ポンタ・auPAY デザインマスク

一般的な不織布マスクにキャラクターの「ポンタ」と auPAY の宣伝があしらわれたマスク。

ローソン一部店舗にて従業員向けマスクとして配布されていた。

これも展示品 17 と同様にデザイン性に特化したマスクの一つである。



19. ユニクロ エアリズムマスク 3P M

ユニクロより販売されているマスク。

ユニクロの衣類に使用されるエアリズムの構造を応用したマスクであり、快適に装着することができるよう目指されている。

このマスクは快適さが重要視されるが、それ以上にユニクロという企業から販売されたブランドのマスクという点で非常に注目された。

展示品一覧

1. 大創産業 不織布マスク 30枚入 ふつうサイズ
2. タマガワエーザイ FITTYシルキータッチ® 耳ゴムふわり ホワイト7枚入 ふつうサイズ
3. 阿蘇製薬 デルガード® 不織布マスク 5枚入 ふつうサイズ
4. unicharm 超快適® 7枚入 ふつうサイズ
5. 大創産業 活性炭マスク 7枚入 ふつうサイズ
6. CROSSEED ダチョウ抗体マスク® 3枚入 Sサイズ女性用
7. かぜと花粉強力ブロックマスク
8. ARAX PITTA MASK® 3枚入 REGULAR GRAY
9. ARAX PITTA MASK® 3枚入 REGULAR WHITE
10. SPINNS 接触冷感マスク クールなやつら 3枚入 BEIGE
11. アズワン SH2950V N95防護用マスク フリーサイズ
12. フェイスシールド
13. 布マスク(通称 アベノマスク)
14. 手作り布マスク 折り畳み式 黄色
15. 手作り布マスク 平面式 桃色
16. 手作り布マスク 平面式 花柄
17. 阪神タイガースマスクカバー FKD936594 ハンシンマーク BLK
18. ポンタ・auPAY デザインマスク
19. ユニクロ エアリズムマスク 3P M

おわりに ～マスクの現状と展望～

現在、2019年末に初めて発見された新型コロナウイルスが世界中に拡大しています。このコロナ禍で必需品となっているのがマスクです。タイトルの「マスクと共に生きる」とあるように、今やマスクなしでは生活していけなくなっています。誰もがマスクを着用するようになり、マスクにバリエーションが生まれ、注目されるようになりました。最近ではデザイン性や快適性に特化したようなマスクも製造されています。まだまだ新型コロナウイルスが拡大することが予想され、これからもマスクが必要不可欠になると思われませんが、どのような進化をしていくのか注目したいです。

PET の世界

1. はじめに

今年の7月からプラスチックレジ袋の有料化がスタートした。これは、近年、プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化していることから、少しでも削減するための取り組みである。2015年に国連で採択された「SDGs」では、貧困や飢餓など、世界が直面している課題と目標が多岐にわたって掲げられ、その中には「環境」や「資源」も項目に設けられています。また、国内に漂着したプラスチックごみのうち、飲料用ボトルは7.3%を占め、その大半がペットボトルである。

このようなことから、本企画では生活に身近なペットボトルについて、用途に応じて種類が違ふことや、プラスチックを削減するための代表的な取り組みである「ラベルレス」、使用済みのペットボトルを原料とするリサイクルペット樹脂を利用した身の回りにある商品について取り上げた。また、ペットボトルを使った工作を取り上げることで、小学生にも興味を持って頂けるようにした。

2. 様々な形状のペットボトル

ペットボトルは飲料用だけでもその材質、形状など様々な違いがある。その違いは中に入っている飲料による。飲料の種類によって分類し、それぞれどのような工夫がされているのかをまとめた。

○炭酸飲料

炭酸飲料を入れた場合、ペットボトルの内部から圧力がかかる。圧力による変形に耐えるため材質は固くて厚く、圧力を均等に受けるため丸形で表面がつるつるしているのが特徴である。



○お茶・野菜ジュースなど

高温で殺菌した飲み物を入れるため、高温に耐えられるよう工夫がされている。また、飲み物が冷えたときにボトルが内側にへこむのを防ぐために材質は固くて厚く、四角のデコボコ（減圧吸収パネル）がある。形状は角形が多く、口部は白いのが特徴である。



○ミネラルウォーター・スポーツドリンクなど

高温殺菌を行わず炭酸も入れないため薄くて柔らかい素材で作ることができる。強度を維持するための溝やくぼみがある。材料が少なく軽いので環境にやさしい。



○HOT 飲料

通常のペットボトルは目には見えないがわずかに空気を通す。加熱時には酸素の影響を受けやすく、中身の品質劣化が常温や冷却時と比べて格段に早くなってしまう。そのためホット用 PET は酸素を通しにくい特殊な素材となっている。



○冷凍飲料

液体は冷凍すると体積が増えるので、ペットボトルに強度がないと膨張に耐えきれず形状が崩れたり破れたりしてしまう。そのため、通常よりも厚く作られており、膨張圧を吸収できるようになっている。



3. ペットボトルと3R

環境問題を改善するために広まった「3R」の観点から、ペットボトルに関する環境への取り組みについてまとめた。

3Rとは

ごみの量を減らす =Reduce (リデュース)

繰り返し使う =Reuse (リユース)

再び資源として利用する=Recycle (リサイクル)

① リデュース→ラベルレスへの取り組み

ラベルレス商品とは、ペットボトルに貼付しているラベルを削減し、廃棄物量削減による環境負荷の低減と、ラベルを剥がす手間を省くことを図った商品である。アサヒ飲料では、2018年からラベルレス商品を展開している。通常ラベルに記載している原材料名などの法定表示は、外装段ボールに記載し、個々の商品への記載が必要なリサイクルマークはPETボトルへ貼付したタックシールやキャップに記載している。2020年4月7日よりリニューアルしたラベルレスボトルは、識別表示に関する制度変更に伴い、タックシールの代わりにボトルに直接リサイクルマークを刻印しており、完全ラベルレス化となっている。ラベルやタックシールを貼付しないことにより、年間で7tの樹脂量の削減を見込んでいる。



②リユース→ペットボトル工作

リンゴの小物入れ



ワンピース（風）貯金箱



ブレスレット



ハリネズミの小物入れ



空気法



万華鏡



③リサイクル

指定表示製品の PET ボトル



PET ボトルの識別表示マークの対象品は、PET ボトルのリサイクルに適した製品（指定表示製品）に限定される。

例・清涼飲料、酒類、牛乳、乳飲料などの飲料

- ・醤油、アルコール発酵調味料、ノンオイルドレッシングなどの特定調味料



指定表示製品以外の PET ボトル



プラスチック製容器包装として、市町村のルールにしたがって別途、分別排出をする。

例・食用油、オイル成分を含むドレッシングなど食用油脂を含むもの

- ・ソース、焼き肉のたれなど香辛料の強いもの
- ・洗剤、化粧品、医薬品など非食品用途のもの 等



PET ボトルをリサイクルする 2つの方法

- ・カスケードリサイクル

回収した PET ボトルから異なる用途のいろいろな製品を作る方法

例…食品用パウチ、スーツ、カーペットなど

- ・水平リサイクル（ボトル to ボトル）

回収したペットボトルから再びペットボトルを作る方法

漢字の変遷～甲骨文字から楷書まで～

○はじめに

漢字の起源には諸説あるが、亀甲や獣骨に卜占の記事が刻された甲骨文字は、文字としての構成要素がすでに発達しているため、一般的に文字の起源とする説が知られている。本展示では、漢字の起源とされる甲骨文字から、現在の漢字につながる楷書の成立までを展示する。実際の作品や拓本を展示することで、私たちが普段何気なく使っている漢字がどのように変化し、現在の形になったのかを目で見て理解することができるような、また、来場者に、日常的に使う漢字について今まで以上に興味をもつきっかけともなる展示にしたい。

○展示資料

1, 甲骨文字



甲骨文字とは中国の殷の時代に人々が卜占（占い）などに用いられたもので、亀の甲羅や獣の骨（主に牛の肩胛骨）に刻され、「亀甲獣骨文字」ともいう。甲骨の出土地は河南省安陽の小屯という村で、殷墟と呼ばれていたので「殷墟文字」ともいう。甲骨文は殷の後期から殷王朝が滅ぶまでの二百数十年用いられた。

内容は、祖先の祭礼、農耕の吉凶、降雨の有無、狩猟など多様である。儀式は占い師が担当し、その結果を見て吉凶を判断した。

甲骨文字の基礎を築いた董作（とうさく）賓（ひん）はその字形や書風に注目し、占い師の集団をもとに、甲骨文字の年代を五期に分けた。

- 第一期…雄偉（ゆうい）（武丁時代）
- 第二期…謹飭（きんちやく）（祖庚・祖甲時代）
- 第三期…頽靡（たいび）（廩（りん）辛（しん）・康丁時代）
- 第四期…勁峭（けいしょう）（武乙・太丁時代）
- 第五期…巖整（えんせい）（帝乙・帝辛時代）

2, 金文



金文とは青銅器などに鑄込まれた文様や銘文にあたるものである。殷時代には青銅器の制作技術が相当発達し、そこに文様や銘文が鑄込まれた。

周代になると、封建制度が推進され、王と諸侯との関係を示すために青銅器を作り、これを諸侯に与えた。時代とともに青銅器の用途は変化し、嫁入り用や土地訴訟の記録などに用いられるようになる。西周時代の武王から十二代幽王までの銘文の書風は三期に分けられる。西周前期では素朴で力強いが、次第に線の肥瘦がなくなり、字形が整っていく。中期になると大小の変化がなくなり、字形も整う。銘文の時数は多くなるが行間が広いため明るい。後期はやや字形のくずれたものも出てくる。周末になると王室の権威が衰え、諸侯が実力を持つようになり、諸侯が独自に青銅器をつくるようになる。それに伴い、銘文の内容や書風も多様化していった。

春秋戦国時代には諸侯が制作した青銅器が多くなり、書風が多様化し、地域差が見られるようになる。西北系（秦・晋など）は西周以来の伝統が残る。東北系（齊・魯）は懸針または等質の線で、長脚の金文が特徴である。南方系（楚・越など）は金文や木簡など、長脚の文字や著しく装飾化した鳥篆などである。

3, 木簡



敦煌縣泉置村檢、蹟(局部)

木簡は、紙が発見され普及するまでの間に使用されていた書道具で、木や竹を細長い短冊形に削り、この上に直接墨書きされた肉筆の書である。もともと紙が発見される前は、亀甲・獣骨・陶器・青銅器・石・竹・木などに書かれていた。木簡に書かれた文章の内容は、公私の文章や書物の写本などさまざまで、具体的には、軍事の記録が最も多く、書道の手本などもある。

今回は、私たち書道教育専修の学生4人で木簡の臨書を行い、レプリカを作成した。

4, 西狭頌



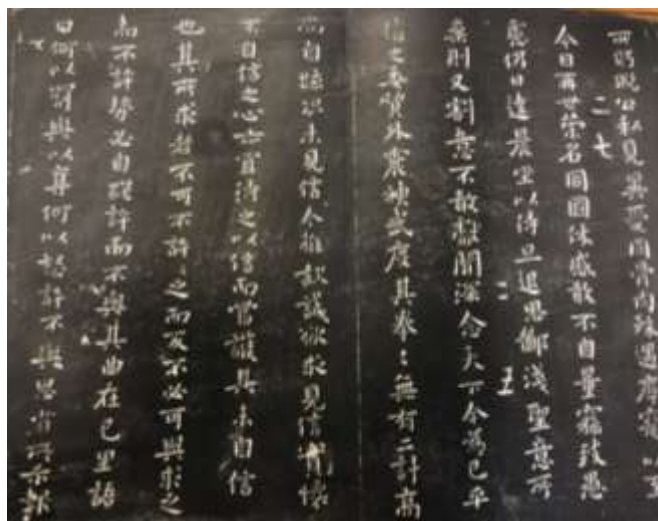
西狭頌（せいきょうしょう）は後漢 171 年 仇靖（きゅうせい）の書で、書体は隸書。摩崖。

「仇靖、字は漢徳、文を書す」と漢碑では珍しく書者名を入れている。縦 220×240 cm、20 行、行ごとに 20 字。

武都太守であった李翁が、西狭の険路を開いた功績をたたえた摩崖碑である。1 文字 8 cm² もある大文字で、1 字の欠損もなく状態良好である。

宋の趙明誠の「金石録」に記されて以来、多数の金石家に著録されている。

5, 鍾繇「宣示表」



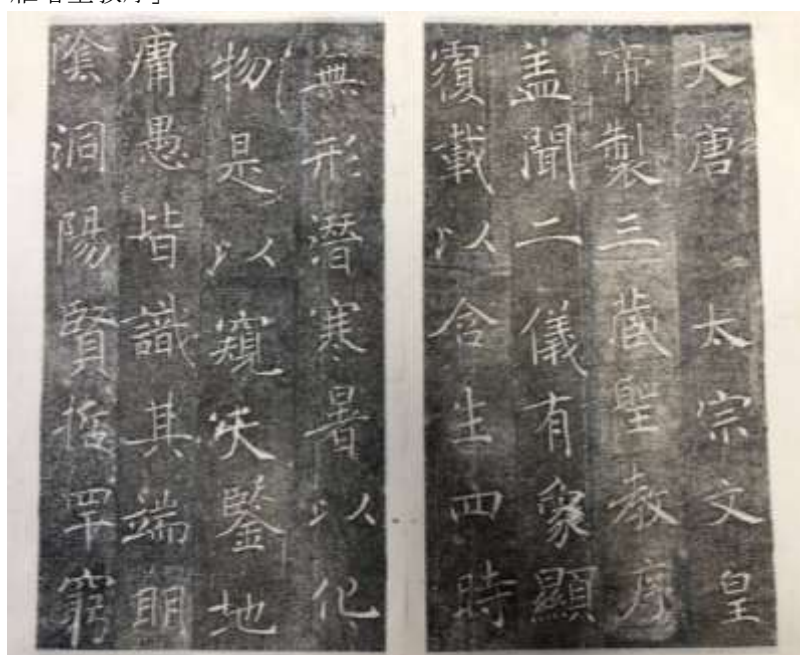
拓本。縦 23.9×横 11.9 c m。18 行、全文で 298 字。

鍾繇は、後漢末期から三国時代の魏を生きた政治家・武将・書家である。鍾繇が生きた時代には、隸書にかわって草書や行書、楷書などの実用体が広く世に用いられるようになった。

「宣示表」は、鍾繇の中でも代表的な作品で、鍾繇が 71 歳のときのものである。現存するのは王羲之の臨書だとも言われており、今見られるのは刻本のみで、楷書の小さいもの、いわゆる小楷で書かれた作品である。中国では長い間、科挙と呼ばれる高級官僚の採用試験が行われた。小楷は、その採用試験で解答用紙に書く文字であった。

「宣示表」は、呉の孫権が魏の文帝にたいして和睦を申しでたことに関する鍾繇から皇帝への意見書である。字形は扁平で、隸書の意を帯びている。

6, 褚遂良「雁塔聖教序」



唐時代の皇帝太宗に仕えた欧陽詢、虞世南、褚遂良の3人を“初唐の三大家”と呼ぶ。この3人の書、特に楷書とてもは優れており、楷書の極則（最も優れたもの、典型となるものという意味）を示したことで評価されている。この「雁塔聖教序」は褚遂良による書で、宋時代に取りれた拓本である。内容は太宗皇帝が仏教の伝来や玄奘法師の功德などを称揚した「序」と、高宗が父太宗の理解と玄奘法師の事業の意味を述べた「記」があり、総称して「雁塔聖教序」呼ばれている。楷書の中に隸書、行書の筆法が含まれており、書体が変遷してきた様子をうかがうことができる。抑揚のきいた弾力性豊かな筆法で、太細・強弱の変化に富み、清らかな風韻を感じることができる。唐の第3代皇帝高宗が亡き母の冥福を祈るために建立された慈恩寺の大雁塔の左右におさめられている。